

- (1) 調査の目的  
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育 施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (2) 調査を実施した児童・生徒数  
小学校第6学年 <1,005,600人 (交野市：10校 665人) >  
中学校第3学年 < 932,995人 (交野市： 4校 633人) >

- (3) 調査内容  
① 教科に関する調査  
・小学校【国語・算数】  
・中学校【国語・数学】  
※英語（中学校）、理科（小学校）は3年に1回のため実施せず  
② 質問調査紙（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）
- (4) 実施日 令和3年5月27日（木）

【今年度調査の特徴】  
※令和2年度調査は新型コロナウイルス感染症にかかる休校等の影響を考慮し、実施しないこととなったため、本年度は2年ぶりの実施  
※可能な限り、多くの児童生徒が同じ条件で参加できるよう、例年より約1か月遅れの日程で実施  
※新学習指導要領の趣旨を踏まえ、平成31年度より従来のA（知識・技能等）とB問題（活用等）という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題に変更

## 学力調査結果

### 平均正答率 (%)

対全国比 = 市の平均正答率 ÷ 全国平均正答率

#### 小学校

	交野市	全国	差	対全国比
国語	63	64.7	-1.7	0.974
算数	71	70.2	+0.8	1.011

#### 中学校

	交野市	全国	差	対全国比
国語	64	64.6	-0.6	0.991
数学	58	57.2	+0.8	1.014

### 無解答率 (%)

#### 小学校

	交野市	全国	差
国語	5.6	4.3	1.3
算数	2.0	2.6	-0.6

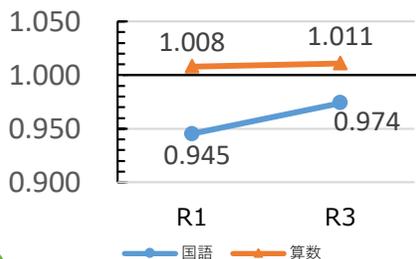
#### 中学校

	交野市	全国	差
国語	4.3	4.4	-0.1
数学	10.5	11.2	-0.7

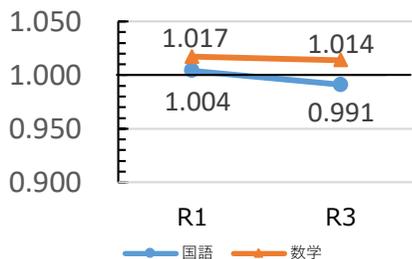
### 【参考】対全国比の経年変化

全国平均正答率を1.000としたときの、市の各教科平均正答率の推移

#### 小学校



#### 中学校



## 各教科の状況

	領域等	市平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
小学校国語	話すこと・聞くこと	79.5	77.8
	書くこと	58.2	60.7
	読むこと	45.9	47.2
	言葉の特徴や使い方に関する事項	63.8	68.3

	領域等	市平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
小学校算数	数と計算	63.9	63.1
	図形	56.7	57.9
	測定	75.8	74.8
	変化と関係	78.2	75.9
	データの活用	76.2	76.0

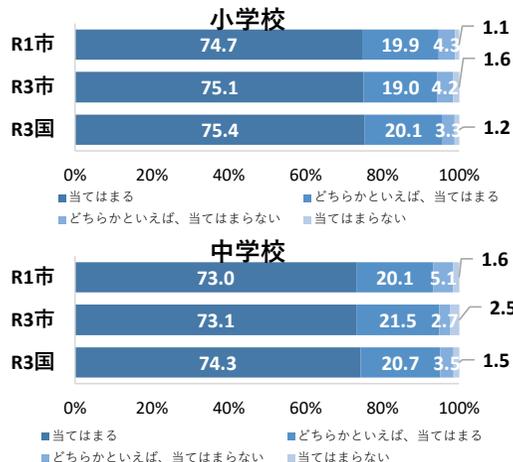
	領域等	市平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
中学校国語	話すこと・聞くこと	79.6	79.8
	書くこと	55.8	57.1
	読むこと	48.7	48.5
	言葉等の知識や理解	75.2	75.1

	領域等	市平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
中学校数学	数と式	66.6	64.9
	図形	53.4	51.4
	関数	55.1	56.4
	資料の活用	52.2	53.8

児童生徒質問紙

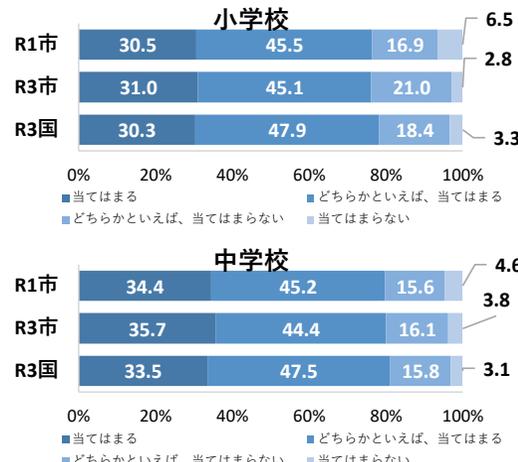
○人の役に立ちたいと思っている

人の役に立つ人間になりたい



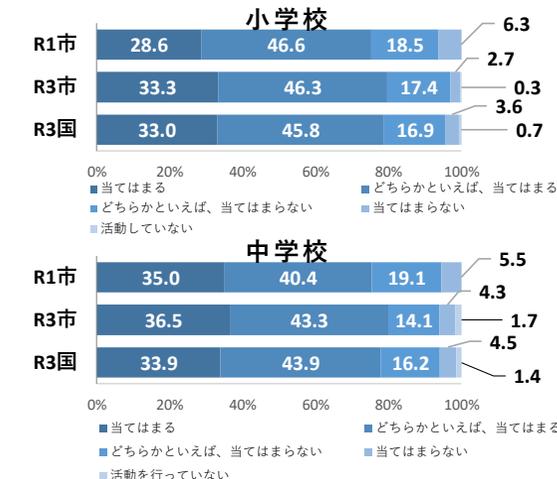
○自分で考え、自分から取り組む

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む



○自分の考えを深めたり、広げたりしている

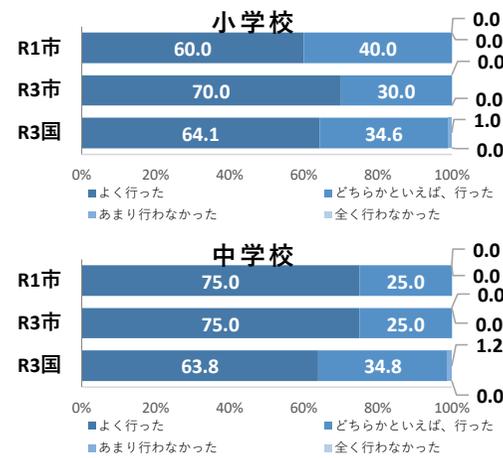
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている



学校質問紙

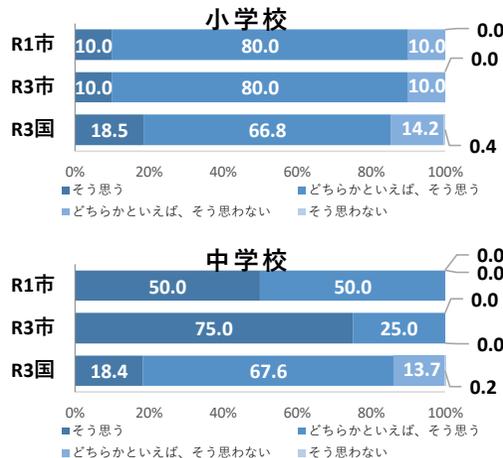
○良い点や可能性を見つけ評価する取組み

前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人ひとりの良い点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組みを行った



○授業改善に関する取組み

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている



○将来について考えさせる指導

前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

